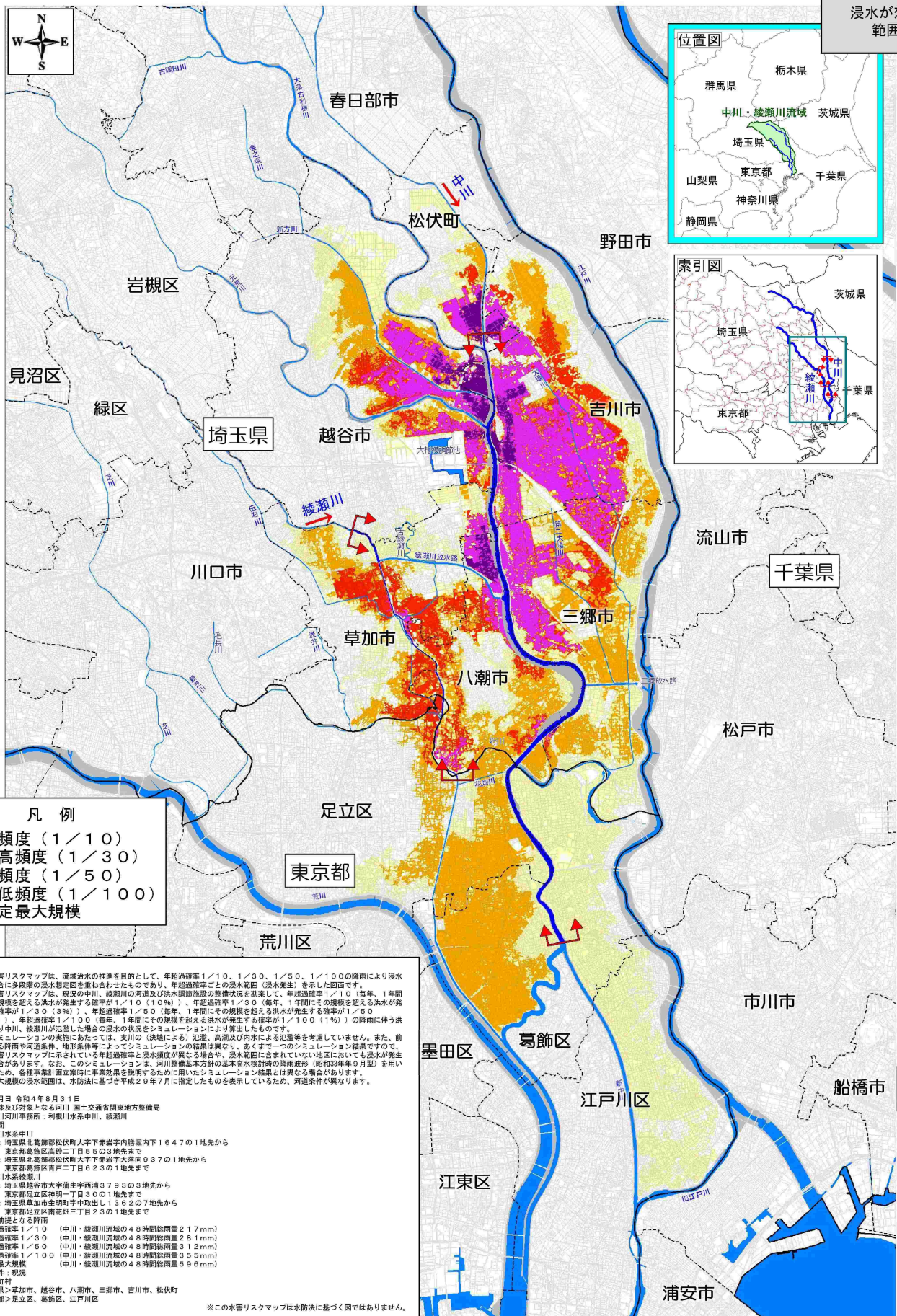
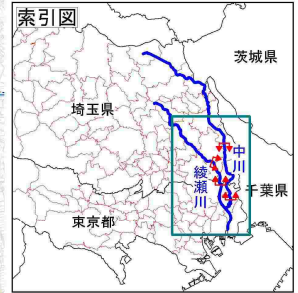


利根川水系中川・綾瀬川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ(0.00m)【現況河道】



浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
 - 中高頻度 (1/30)
 - 中頻度 (1/50)
 - 中低頻度 (1/100)
 - 想定最大規模

- 1. 説明文**
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の閾値により浸水した場合に多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
 - (2) この水害リスクマップは、現況の中川、綾瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により中川、綾瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) このシミュレーションの実地にあたっては、変川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前掲となる降雨や河運条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されていない年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和33年9月型)を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年7月に指定したものを表示しているため、河運条件が異なります。
- 2. 基本事項等**
- (1) 公表年月日 令和4年8月31日
 - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局
・江戸川河川事務所：利根川水系中川、綾瀬川
 - (3) 実施区間
・利根川水系中川
左岸：埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字内堀内下1647の1地先から
東京都葛飾区高砂二丁目5の3地先まで
右岸：埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字大赤川937の1地先から
東京都葛飾区青戸二丁目623の1地先まで
・利根川水系綾瀬川
左岸：埼玉県越谷市大字産生字西浦3793の3地先から
東京都足立区神門一丁目30の1地先まで
右岸：埼玉県草加市金明町字中取出し1362の7地先から
東京都足立区南花畑三丁目23の1地先まで
 - (4) 算出の前記となる降雨
・年超過確率1/10 (中川・綾瀬川流域の4.8時間総雨量217mm)
・年超過確率1/30 (中川・綾瀬川流域の4.8時間総雨量281mm)
・年超過確率1/50 (中川・綾瀬川流域の4.8時間総雨量312mm)
・年超過確率1/100 (中川・綾瀬川流域の4.8時間総雨量335mm)
・想定最大規模 (中川・綾瀬川流域の4.8時間総雨量596mm)
 - (5) 河運条件：現況
 - (6) 関係市町村
＜埼玉県＞越谷市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
＜東京都＞足立区、葛飾区、江戸川区
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

